

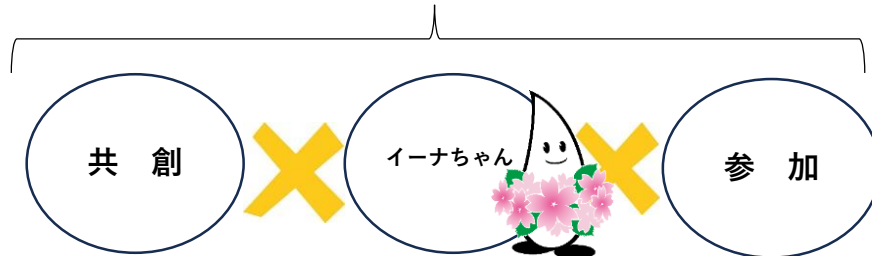
いなからプロジェクト

生きがい、多様な参加ができる地域を
ともにつくる取組

コンセプト

地域がつながり、いきいき誰もが活躍できる機会、共に暮らすまちづくりの実現のため、イーナちゃんグッズ製作をとおして、それぞれができることを考え、意識の醸成を図る。

地域共生社会



プロジェクト名

しなから
PROJECTS

いなからプロジェクトは、3つの意味を含んでいます。

- 伊那から…「地域共生」の取り組みを“伊那から”発信していく。
- なから …方言の「なから」はだいたい、おおよその意味。
地域共生プロジェクトが考えた伊那市の目指す姿が
「なから伊那暮らし」。
いい塩梅やいい距離感＝「なから感」が大切
- カラフル…ひとり一人が様々な色を持つ存在であり、
それがグラデーションとなりかたち作っている。

取組概要

第2弾：高校生つくるグッズ製作 ～高校生の視点でまちを再発見～

■趣 旨

高校生がまず自分が過ごす学校、地域を知ること、関心を持つ、また、まちづくりを身近なものと結び付けるきっかけとする。

■具体的な流れ

令和5年度弥生ヶ丘高校の1年生が「総合的探究の時間」を使い、活動する。

高校生が「かわいい」、「かわいい」、「きれい」をどんなことから感じるか深掘りをし、その視点で景色の写真を撮り、PRの動画製作。

また、各自が伊那市の魅力を考え、エコバックのデザインを考案し、その後、製作。

■効 果

高校生が「地域」に関心を持ち、自分次第でまちの見え方が変わること気が付く。

弥生1年生の探究学習（×郷土愛プロジェクト） ！ OODA-OODA ！

VOUCA（変わり動いて、不確実で、複雑であいまいな時代）を生きるために必要な力
！ OODA（よく聞いて、データを集めて理解して、判断して、動く）！

授業のねらい：

（地域）社会で活躍するさまざまな業種・職種のオトナたちがどのように（地域）社会と向き合い、何を「探究」しようとしているのか学び、身近な地域課題・活動を見い出す。

自身と社会（地域・正解）との関わりのあり方を考える。

内 容：1年生は10コースある中から、自分が関心があるものを1つ選び参加。
地域創造課では、まちづくりをテーマにし、高校生とイーナちゃんグッズの考案、PR動画の制作。1学年198名のうち、30名が参加し、5グループに分かれ、活動。



- 山の見方、風景の見方（こんなにもきれいなんだと…）
 - ない…ただ、伊那の魅力を再発見した！
 - 近くの魅力 • 伊那市の印象
- イーナちゃんの固定概念にとらわれなくなった
 - 人と協力する楽しさ • 友達増えた！
 - すごい自由に考えられるように
 - 伝え方を考える • よく考える
- 色々な物を見る角度や考え方が変わった…？

日 程	活 動 内 容
10月12日	グループ立ち上げ
10月26日	まち歩きの前準備
11月2日	探究アクティビティ① グループごとにまち歩き (創造館 伊那まち・1966展見学後、市駅周辺を散策)
11月9日	まち歩きの振り返りと準備 エコバック、動画制作に向けて、各グループで何をするか 考え、準備
11月16日	探究アクティビティ② エコバックのデザイン検討、PR動画制作
11月30日	制作の続き
12月14日	制作の続き
1月11日	探究アクティビティ③ エコバックの制作 探究の時間の振り返り

